

## ■ 血管内カテーテルの種類に応じた管理方法一覧

詳細は種類ごとのマニュアルを参照すること

	<a href="#">末梢静脈留置カテーテル PIVC</a>	<a href="#">非ガイドワイヤー型ミッドラインカテーテル</a>	<a href="#">ガイドワイヤー型ミッドラインカテーテル</a>	<a href="#">末梢挿入型中心静脈カテーテル PICC</a>	<a href="#">中心静脈カテーテル CVC</a>	<a href="#">中心静脈ポート CVポート</a>
	Peripheral Intravenous Catheter	Non-Guidewire type Midline	Guidewire type Midline	Peripheral Inserted Central Venous Catheter	Central Venous Catheter	Implanted Central Venous Catheter
定義	末梢の静脈に留置する7 cm未満のプラスチック製のカテーテル	上腕の末梢静脈(尺骨皮静脈、橈側皮静脈、または上腕静脈)から挿入し、腋下の付近にカテーテル先端が位置するように留置するカテーテル。	挿入時にガイドワイヤーを使用しない	末梢静脈から中心静脈に留置するカテーテル	鎖骨下、内頸、大腿静脈などから挿入し、中心静脈に留置するカテーテル	経皮的に針を挿入する部分(ポート)が接続され、皮下に埋め込まれたもの
挿入時ドレッシング交換時の消毒薬	消毒用エタノール 10%ポビドンヨード クロルヘキシジン クロルヘキシジナルコール	消毒用エタノールまたはクロルヘキシジナルコール		クロルヘキシジナルコール 上記にアレルギーがある場合は 10%ポビドンヨード		
ドレッシングの交換頻度	ガーゼの場合は2日ごと フィルムの場合は差し替え時または最長7日 (汚染やゆるみがある場合はすみやかに交換)	ガーゼの場合は2日ごと フィルムの場合は最低7日ごと(ただしゆるんだり湿ったり汚染がある場合などはすみやかに交換する)				
挿入時の防護具	清潔手袋	清潔手袋(エコーを使用する場合は滅菌カバーと滅菌手袋)	マキシマルバリアプリコーション			
刺しかえ	成人は72時間から96時間。 極端に出にくい患者は観察の上7日まで留置可。  乳幼児の場合は定期的な交換は必要ないが挿入部位の定期的な観察を行う。	最長14日間	感染予防目的での交換は不要			
ルート交換頻度	差し替え時(最長一週間) ※血液・血液製剤または脂肪乳剤の投与に使用したラインは点滴開始後24時間以内に交換 ※プロポフォールを投与するラインは6~12時間ごと交換	週一回 血液・血液製剤または脂肪乳剤の投与に使用したラインは点滴開始後24時間以内に交換 プロポフォールを投与するラインは6~12時間ごとに交換				